

# ウォークインたかさき

## 歴史コース

高崎の歴史を語る上ではずせない9つのポイントをチェック!



① 高崎駅

明治17年開業。初代市長矢島八郎氏が無償で土地提供し、造られた。上信越と東京をつなぐ交通の要。明治43年からは渋川方面に路面電車が走っていた。現在は周辺の施設で音楽活動をする若者達でにぎわっている。



② 豊田屋旅館

明治創業の老舗旅館。明治期に15連隊が設置された後、軍人と家族との面会などに使われた。道路計画により現在の場所に移築された。作家の司馬遼太郎が訪れたこともある。白衣観音像は向かいのイノウエビル(元井上工業本社)を見つめているといわれている。



③ 安國寺

設立は歴応2年とされるが詳細は不明。創建は現在の箕郷西明屋に浄土宗として開山。慶長3年、井伊兵部少輔直政が城を高崎に築く際に現在地に移転。明治初期、前橋・高崎で県庁がいったりきたりする際、明治9年に安國寺に一時、県庁が置かれた。ちなみに群馬県は廢藩置県で布告の前日まで「高崎県」になるはずだった。



④ 大信寺 徳川忠長墓所

高崎市指定史跡。忠長は徳川2代將軍秀忠の第三子で、3代將軍家光の弟として甲斐をはじめ信濃、駿河、遠江などを封じ55万石の高禄となり駿府城に住んでいたが、乱行があったとして寛永9年に高崎城に幽閉され、翌10年に自刃した。お墓の高さは2.3m余りの五輪塔で、正面の石扉には三つの裏葵の紋が刻まれている。



⑤ 連雀町地下道

かつて連雀町の中山道東側には『藤五伊勢丹』というデパートがあり、そこへ向かう人々で周囲はとても賑わっていた。すぐそばの連雀町交差点では、青信号であるにも関わらず、あまりの混雑で交差点を横断できないという人が続出。その解決策のひとつとして、この地下道が造られた。



⑥ 旧中山道

東京・日本橋から京都・三条大橋を結ぶ江戸時代の五街道のひとつで『中仙道』と表記されることもある。500kmを超える道中には高崎町も含まれており、道中唯一の宿場町として栄えた。「お江戸見るなら高崎田町」と小唄に歌われている所以もここにあるといわれる。



⑦ 高崎絹市場跡

高崎藩の城下政策により、絹・綿の商圈が田町に限られたという理由から、元禄三年(1690)、この場所に高崎絹市場が建てられた。当時はこの市場で5日、10日に「六斎市」が立ち、多くの人で賑わっていた。



⑧ 高崎城址

高崎城は烏川に沿って築城された輪郭梯郭複合式の平城である。城の周りは土塁で囲まれ、石垣はほとんど造られなかった。現在、城址は市街化が進み、高層21階の市役所や音楽センターなどの公共施設が多く並んでいる。お堀の周辺は高崎城址公園として、約4.9haが整備されており、春には約300本のソメイヨシノやツツジが満開となる。



⑨ 15連隊碑

明治17年から昭和20年まで上信越の陸軍の拠点として高崎城址が利用されていた。軍事、医療の拠点として機能し、戦後は、市役所や高崎経済大学を経て現在の形になった。明治から昭和の高崎の繁栄を語る上で、15連隊は外せない要素と言える。

「歴史」と「文化」、2つのテーマでおすすめスポットをピックアップ。  
歩いて巡ることで、今まで気付かなかった新たな魅力に出会える!!

## 文化コース

歩くほどに見えてくる、高崎の街が育んできた文化。



① 旧井上房一郎邸

高崎市美術館に隣接された井上房一郎氏の旧宅。音楽センターを設計したレーモンド氏の麻布にある旧宅を基に設計された。照明もレーモンド夫人のデザインしたもの。昭和中期を代表する美術的建築物。



② シネマティーク高崎

元々は旧新潟中央銀行。平成16年(2004)末にたかさきコミュニティシネマを中心に設立されたミニシアター。数々の名作に出会える。高崎はロケ地に使われる街としても有名。



③ 高崎聖オーガスチン教会

国登録有形文化財。聖堂は昭和4年(1929)に造られ、ネオ・ゴシック様式を意識したデザインとなっている。高崎では最初の本格的な鉄筋コンクリート造の建築と言われており、隣接するアトリエ(旧聖光幼稚園)では常時絵画の展示が行われている。



④ 山田邸

明治15年築。高崎市都市景観重要建築物に指定されている。市内に唯一残る明治期の店蔵造りの建築物。明治期の高崎の繁栄を今に伝える由緒ある建築物。



⑤ 中央銀座

かつては群馬県一の賑わいを見せていた「高崎中央銀座商店街」。全長400メートルのアーケード街の中でも、柳川町に近い一画は、独特な昭和の佇まいを残している。「スナックエクスプロ」の建物をはじめ、現代のセンスではお目にかかるレトロな物件も多い。



⑥ 柳川町界隈

古来より兵営のそばには必ず女の街が出現し、兵隊を相手に情が売られていた。高崎もその例にのらず、壕一つ隔てた高崎城内の兵営に常駐する千人の兵士と柳川町の花街の関係は切っても切れないものであった。日本の軍事大国への歩みと共に、柳川町の花街も発展してきた。



⑦ 高崎地域医療センター

昭和50年(1975)4月に「地域医療の確保を基盤とし、地域住民の疾病予防・健康増進を推進し、地域住民の社会福祉に寄与する」ことを目的として整備された。4階のホールはライブ会場としても利用され、アマチュア時代の氷室京介や布袋寅泰もステージに立っていた。



⑧ 群馬音楽センター

アントニン・レーモンドの設計によって建てられた音楽ホールで、群馬交響楽団とも深い関わりのある建造物。平成11年(1999)には「日本の近代建築20選」にも選出された。「昭和三十六年時の高崎市民之を建つ」の碑が示すように、昭和36年、井上房一郎氏の提唱の元、市民の寄付金と市からの拠出によって建てられたというエピソードは有名である。



⑨ 高崎公園

市役所の南に位置する高崎で二番目に作られた公園。城址公園と併せて桜の名所。園内のハクモクレンは元和5年(1619)当時の城主安藤重信により植えられた。隣の頬政神社には内村鑑三の「上州人無知無才」の碑が立っている。

